

支部協だより

第170号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 TEL.098-870-7101
 FAX.098-875-7450
 責任者
 会長代行 松田竹徳

辺野古の新基地建設反対 3月16日(土) 県民大会

■午後2時
 ■新都心おもろまち公園(予定)
 ■主催 オール沖縄会議

2月24日の県民投票をふまへ、3月16日(土)にオール沖縄会議主催で県民大会を催すことになった。(注、正確な日時と場所は3月に

なつてから新聞報道を参照してください)

承知の通り、安倍政権は県民投票の結果にかかわらず、辺野古新基地建設を推し進めようとしています。工法や工期は不明、総工費は青天井(2兆5千億〜3兆円) 軟弱地盤の改良工事



で砂杭7万7千本を打ち込むとも云われ、それすら展望がないのである。莫大な「税金」が投入される「公共工事」にもかかわらず、工事を強行している。無謀だ!

私たちは諦めずに抗議の声をあげよう、退職者の会の会員は県民大会に参加しましょう。

幹事のゆんたく ひんたく

前号(169号)からの続きです。まず、昨年の3月に退職した方は確定申告(年金以外の収入があるの

で)になりますので期間中(2月15日〜3月15日)にやったほうが無難です。年金だけの方は先の期間を外したほうが良いでしょう。

① まず年金機構や共済会から送られてきた源泉徴収票から所得税がいくら引かれているか合計します。その場合5千円前後だと還元金は最大5千円、普通千円〜2千円ほどしか、戻ってこないのが税務署へ行く難儀とは合わないのでやめた

代・昼食・入館料・ガイド代(含む)
 ■講師 泉川良彦さん(読谷村立図書館・館長)
 ■申し込み 3月4日(月)〜15日(金)の月・水・金、
 ■退職者の会(098-870-0171)まで、バスの定員との関係で40名先着順とします。なお、会員の配偶者は可能ですが、他の家族の方は補欠扱いとなります。(雨天決行)

ほうが無難です。

② 源泉徴収票の所得税が5千円以上の方はぜひ還付申告しましょう。まず必要書類ですが、①源泉徴収票

②印鑑 ③免許証 ④マイナンバーの通知カード(扶養している分も) ⑤通帳 ⑥社会保険料(国保・介護)の領収証(注、年金差し引きで年末に送付される通知書に書かれている場合もある) *配偶者が扶養の場合、配偶者の社会保険料も税金の対象額から控除されます。

⑦生命保険や火災保険会社から送られてきた書類(合計5万円まで控除されます) ⑧病院や薬局の領収証(扶養の配偶者の分も含めて) 合計10万円を超す場合、超した額が控除されます。

特に①②の額が多ければ多いほど税金は安くなります。僕は昨年3万7千円戻ってきました。会員の奮闘を祈ります。

*あやふやな方は3月8日(金)僕は事務所当番ですので支部(分会)事務所に「ゆんたく」しに来てください。(金城幸男)



新春企画 琉球史を行く③ 時空を超えて

「座喜味城跡と国頭方西海道」を行く



座喜味城は15世紀に護佐丸によって築かれたと云われている。曲線状の城壁は600年へて、なお美しく名城と云われている。琉球史を行く三回目は読谷村のガイドの案内で「座喜味城跡」「仲泊遺跡」を中心とする国頭方西海道を訪ねます。

三月、送別会や新入学(孫?)の準備で忙しいと思いますが多くの会員の参加を募ります。
 ■日時 3月22日(金) 午前

9時15分県庁前バス停集合・9時20分出発
 ■行程 県庁前(9時20分)〜開南(9時30分)〜与儀〜古島〜西原インター〜沖縄南インター〜読谷〜昼食(むら咲むら)〜恩納村・仲泊遺跡〜高速経由で那覇(那覇着午後5時)

途中のバス停で乗車可能です。途中で申し込みの時、相談してください。
 ■参加費 1500円(バス



